

内蔵LTOユニットでのカートリッジテープ[®]操作につきまして

このたびは、弊社の内蔵 LTO ユニット(以降、本製品)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品でカートリッジテープを操作するうえでの注意事項を以下に示しますので、事前に内容をご確認ください
ますよう、お願い致します。

富士通株式会社
2020 年 5 月

はじめに

本製品にカートリッジテープ[®]を挿入する際は、後述の カートリッジテープ[®]操作の “正しい挿入方法” を参考にしてください。

▲注意 “ロードエラーが発生しやすい操作” に記載されるような挿入方法を行わないでください。

対象製品

名称	型名
内蔵 LT04 ユニット	PY-LT411 / PYBLT411, PG-LT403 / PGBT403, PGBT403C
内蔵 LT06 ユニット	PY-LT611 / PYBLT611, PYBLT611A
内蔵 LT07 ユニット	PY-LT711 / PYBLT711
内蔵 LT08 ユニット	PY-LT811 / PYBLT811

カートリッジテープ[®]操作

■ 正しい挿入方法

カートリッジテープを挿入する際は、カートリッジテープ背面の中央部よりも右側を指で押し込むように挿入してください。
カートリッジテープは自動的に引き込まれ、ロード動作を開始しロード完了後に READY 状態(利用可能な状態)になります。



■ ロードエラーが発生しやすい操作

ロードエラーが発生しやすい 下図のケース①, ②, ③のような操作を行わないでください。

ロードエラーが発生した場合、本製品は 1 文字ディスプレイのエラーコード "6" を表示し、ご使用になれません。

ケース①	ケース②	ケース③
		
カートリッジテープを上下あるいは左右を指でつかんだ状態で押し込むと、カートリッジテープを本製品が引き込む動作と指を話すタイミングがずれて、ロードエラーを引き起こす可能性があります。		カートリッジテープの背面の左側を押し込んだ場合、カートリッジテープが斜めになりやすく、ロードエラーを引き起こす可能性があります。

— 以上 —